

西村憲二

ここでは、付属FPGA基板の活用に不可欠なFPGA開発ツー ル「ISE WebPACK 6.3i」の使いかたを解説する.本誌付属 のCD-ROMからツールをインストールし、XC3S50向けの設 計を行う.実際に行う手順を具体的に示すので、同じように操 作すればFPGA設計を体験できる. (編集部)

付属FPGA基板の設計にはFPGA/CPLD開発ツールが必要になります. 付属CD-ROM に収録されている米国Xilinx 社の「ISE WebPACK」は,回路図/HDL入力から,論理合成,タイミング解析,論理/タイミング・シミュレーショ

表1 ISE WebPACK の動作環境

OS	Windows 2000(SP2以降)
	Windows XP(SP1以降)
メイン・メモリ	128Mバイト以上
ハード・ディスク	207Mバイト以上の空き容量(インストールのみ)
その他	●CD-ROM ドライブ
	● パラレル・ポート(Parallel Cable IVを使用する場合)
	●インターネット接続環境
	●Netscape 4.7以降,Internet Explorer 5以降の
	Webブラウザ
	●電子メール環境



図1 ISE WebPACK のインストール画面

ン, FPGA/CPLDへの回路データの書き込みまで, FPGA /CPLD設計に必要なひと通りの機能を備えています.ここ では本ソフトウェアのインストール方法と基本操作につい て説明します.



ISE WebPACKは,表1に示すパソコン環境で動作します.

付属CD-ROMは2枚あります.ラベルが青色のCD-ROM (Disc 2)にISE WebPACKとISE WebPACKのサービス パックが収録されています.また,ラベルが赤色のCD-ROM(Disc 1)には本チュートリアルで利用できる設計デ ータやSpartan-3のドキュメント類が収録されています.

ISE WebPACKをインストールする

ISE WebPACKのインストールは,インターネットを使 える状態で行うことをお勧めします.また,インストール には,Windows 2000/XPのAdministrator権限が必要に なります.会社で支給されているパソコンなどで,Administrator権限がない場合は,パソコンの管理者の方に問い合 わせてください.

ラベルが青色のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライ ブに挿入し, ¥soft¥iseにあるsetup.exeを実行します.す ると,図1のようにインストーラが起動します.

1) ライセンスの入手

ISE WebPACKは無償で利用可能ですが, ライセンスを 取得する必要があります. Product ID(CD-ROM やFPGA 基板が納められていた紙製のパッケージにはられているシ ールに記載)を使用し, インストール用のソフトウェア登



図2 ライセンスの入手

録ID(インストールID)をWebサイトで入手する必要があ ります^{注1}.

図1の画面で,[Webサイト]ボタンをクリックすると, ユーザ登録のためのWeb画面が開くので,図2の手順でユ ーザ登録を行います.

まず,「ISEソフトウェアの登録」をクリックします.「ロ グインまたはアカウント作成」の画面が開きます.すでに ユーザIDを持っている方は,IDとパスワードを入力して [ログイン]ボタンを押して作業を進めてください(この場 合は図2の「住所情報」のページに進む).未登録の方は, [アカウント作成]ボタンを押して,以下の作業を行ってく ださい.「新しいアカウントの作成」と「住所情報」の画面 で,必要事項を入力してください.ユーザIDは,半角英小 文字と数字で任意の文字列を指定できます.ただし,希望 するIDがすでに使われている場合は登録できません.エラ ーになったら変更してください.「製品と販売代理店情報」 のページにある「製品ID」には,今回はCD-ROMが納めら

注1:電子メールやFAXなどを使うこともできるが,もっとも簡単で迅速な Webサイトの利用を推奨する.電子メールやFAXによる方法につい ては,ここでは省略する.